



八王子市議会議員 八木下 てるいち

平成28年
夏号

家庭・地域・ふれ愛新聞



発行所 八木下てるいち後援会
〒192-0914 八王子市片倉町810-7メゾンリバーサイド113号室
TEL 042-683-0243 FAX 042-683-0343
E-mail: hachioji@yagiteru.info

私が目指すもの

豊かな行政経験を市政に!

家庭が好き! 地域が好き! 八王子が大好き!

八王子を愛する心と行政経験を活かし、家庭と地域社会の繋がりを深め、人と人がより絆を深めるまちづくりに努めます。



トピックス 「桜を見る会」に出席しました。

平成28年4月9日
桜を見る会は、各界で活躍する人たちを慰労し親睦を深める目的で内閣総理大臣が主催して開かれています。
昭和27年に吉田茂首相が戦前に開かれていた春の「観桜会」等を参考に始めました。会場の新宿御苑には、約65種類の桜があります。
招待者は約1万人で、今年は配偶者を含め約1万6千人が参加しました。
安倍首相が開会のあいさつと乾杯の音頭を取りました。その後花道で招待者と懇談し、桜の下で記念写真にに応じていました。



荻生田内閣官房副長官と新宿御苑にて

「あーそー」

皆様こんにちは。常日ごろ大変お世話になって、感謝申し上げます。

さて、本年5月1日で市議会議員活動の1期目の2年目がスタートしました。議員活動の1年目は、すべての事項が初めてのことであり、間抜けたり、戸惑ったりと緊張の連続だったような気がします。この素晴らしい経験を2年目に活かして活動することを改めて誓った日でもありました。

皆様のお力添えで、数々の仕事を与えていただきまして、議員活動を精力的に推進させていただいております。安心・安全のための道路灯の設置や道路補修、街の美化を進める清掃等、あるいは生活自立を促進するための相談や制度の活用等、皆様の身近な生活の利便を高めるための相談、元気な子ども達が毎日笑顔で暮らせるようなご家族への支援など、八王子市としてのサービスが皆様のご家庭や地域に行き渡るように努力してきました。

しかし、すべての事がご満足いただけるような結果にならないことも多々ありました。ご要望に添えない事や継続的に時間を要する事項についてお伝えするのは大変心苦しいことではあります。丁寧な説明をさせていただきまして、ご理解を得られるように努力してまいります。

私の信条の「丁寧さとスピーディーな対応」を常に意識しながら、2年目も素直なところ、反省・謙虚な心で、そして感謝のこころで、1年目の経験をベースに議員活動を継続していきます。

今後とも、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

八木下 てるいち

後援会からのごあいさつ



八木下てるいち後援会
会長 川幡 博

後援会、並びに支援者の皆様方、平素は大変お世話になっております。感謝申し上げます。
八木下市議会議員は昨年4月の統一地方選挙に於いて、初陣、初当選を果たしました。
明けて本年1月には八王子市が中核市に移行し初の市長選挙が実施されました。八木下議員は当選早々にして大きな市長選挙戦に参画をして大きな勉強、体験をされた事と思います。
その市長選挙に取り組む彼の姿勢には「本気度」が如実に現れていました。即ち、市長選挙の地盤割担当地区として八王子市の東南部地区を(旧由井村地区を想定)先輩市議を含む4人の市議会議員で担当し、片倉町に石森陣営の移動事務所を開設した。その移動事務所の選定から、設営、参加動員、式典のセレモニーの司会進行、後援会、女性部、青年部等への協力依頼をきめ細かく実施することができた。また、個人演説会場の準備と実施、さらには他地区への急遽の応援や動員依頼等々、奔走努力の程を随所に於いて散見した事を承知している。
新人、陣笠議員としては当然のこととはいえ、先輩議員の指揮・指示に従って積極果敢にその任を務めていました。八木下議員の自らの政治信条「丁寧さとスピーディーな対応」にも符合する努力であります。大きな信頼の醸成と成り得たことと思います。選挙戦対応録として特筆した。
八王子市は来年(平成29年)は、市政施行100周年とのこと、大きな祝賀記念行事も計画されていると聞き及んでいます。八木下議員には、過去100周年を祝い、未来100年を見据えて市政に地元地域の発展の為に貢献、活躍を大いに期待致します。
後援会組織も一層の拡充に努めてまいります。皆様方の御支援と御協力をお願い申し上げます。

この人に聞く

八木下てるいち後援会
片倉支部、相談役 臼井 稔さん

後援会片倉支部、相談役臼井 稔さんは昭和6年(1931)10月生まれで代々片倉にお住まいになっています。臼井さんは、目黒流片倉囃子の普及・発展に努め、ふるさとの文化伝統を継承されています。

囃子の由来は、文化文政年間に手直しされた「江戸の里神楽」。「相州系の囃子」及び神社に伝えられる原始的な囃子伝承音楽のようなものが結びつき、現在の「江戸囃子」や「山の手囃子」が成熟する江戸文化の中で新しい音楽として生まれました。神主から農民に伝えられ広がったと考えられています。文政7年(1824)武蔵国荏原郡目黒村字目黒でも始まり、目黒の地囃子となり目黒囃子となりました。明治27~28年に当時の由井村車石に伝えられたことから、目黒流片倉囃子と云われています。

臼井稔さんのお父さんの臼井勝蔵さんを中心に有志の方で本格的に普及活動を始め、片倉囃子の名を広めています。太平洋戦争前には、多賀神社(上の祭り)と八幡八雲神社(下の祭り)の時には、東町、大横町、八木町、追分町、本町、横山町の山車で演奏したそうです。戦後は、祭りが復活して、山車に乗っての活動が再開されました。

また、昭和28年には第1回関東囃子コンクール大会に出場して、見事優勝しまして高松宮杯を受賞しています。後日NHK

の東京放送会館(港区)で収録のために演奏したそうです。八王子まつりでは、臼井稔さんをはじめ片倉囃子のメンバーが、上八日町と横山町三丁目の山車で片倉囃子を披露しています。市内にも多くのお囃子がありますが、二つの山車で演奏をしているのは、片倉囃子だけです。八王子まつり以外には、片倉町の住吉神社、小比企町の稲荷神社、宇津貫町の熊野神社、中野山王の子安神社の例大祭で演奏を行っています。

片倉囃子では、次の5曲を主に演奏しています。【早・破矢(はや)】演奏の初めと終わりに行くもの。【印旛(いんぱ)】お囃子では最も基本的な曲で、おかめ、ひょっとこが調子に乗ると長時間続きます。【鎌倉(かまくら)神霊がお宮に入った様子を表すといわれています。【宮鎌倉(みやかまくら)】神霊がお宮から出て行く様子を表すといわれています。【仕調目(しちょうめ)】神主がすべての行事が終えて、酒を飲み浮かれて喜びの様子を表現しています。

代表は臼井 勝蔵さんから臼井 稔さん、上八日町は高橋正明さんへと引き継がれています。

また、横山町三丁目の山車の責任者には、稔さんの孫の臼井 稔彦さんが任せられ、八王子まつりの中でも片倉囃子が確実に継承されています。



市議会の予定 <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/>

月	日	曜日	予定
8月	23	火	議会開催前総務企画・文教経済委員会
	24	水	議会開催前厚生・都市環境委員会
9月	5	月	招集日・議会運営委員会
	5~9	月~金	本会議 1日目~5日目
	9	金	議会運営委員会
	9・28	金・水	決算特別委員会 1日目・2日目
	12	月	総務企画・文教経済委員会
	13	火	厚生・都市環境委員会
	16	金	議会運営委員会
	26・27	月・火	本会議 6日目・7日目
	29	木	決算特別委員会分科会(総務・文教)
	30	金	決算特別委員会分科会(厚生・都市)
10月	11	火	決算特別委員会 3日目・議会運営委員会
	13	木	本会議最終日

八木下てるいち後援会



〒192-0914 八王子市片倉町810-7 メゾンリバーサイド113号室
TEL 042-683-0243 FAX 042-683-0343
E-mail: hachioji@yagiteru.info

八木下てるいちのホームページ <http://yagiteru.info>



				-
				-
				-
				-
				-
				-

